



Embassy of Japan
in the Kyrgyz Republic

在外公館文化事業「ジャパン・デイ」の実施

2024年10月19日、在キルギス日本国大使館は、JICA キルギス事務所及びキルギス日本人材開発センターの協力を得て、ビシュケク市最大のショッピングモール「ドルドイ・プラザ」のイベントホールにおいて「ジャパン・デイ」を開催しました。同モールでの開催は昨年に引き続き2回目となり、大使館主催の巡回写真展及び日本映画祭に続く秋の日本文化月間「ジャパン・マンス」の締め括りのイベントとなりました。

本イベントは二部構成となり、キルギス日本人材開発センター所属の「大江戸太鼓」による迫力ある和太鼓演奏によって第一部のステージプログラムが幕を開けました。その後、JICA 青年海外協力隊のボランティア、日本人留学生及び当地学生が、北海道の民謡に合わせた踊り南中ソーラン節に続き、日本とキルギスの友好ソング「ビルトゥーガン」（日本語で「兄弟」の意味）に合わせた踊りを披露し、来場者が輪になって一緒に踊りを楽しみました。続いて、キルギス人歌手ウルグベク・クズ・ヌル Cholpon が、キルギスでも有名な宮崎駿監督のアニメ「千と千尋の神隠し」「天空の城ラピュタ」のテーマソングを美しい歌声で披露し、日本に滞在した際の体験談を来場者に紹介しました。コンサートプログラムの最後には、キルギス居合道連盟及び空手連盟が武道パフォーマンス及び各々の武道に関するレクチャーを行いました。

第二部の日本文化体験プログラムでは、浴衣の着付け、書道及び囲碁ブースが設けられました。浴衣コーナーでは、大使館職員夫人及び JICA 職員夫人有志が来場者に日本の伝統衣装である浴衣の着付けを行い、来場者は着物姿の在留邦人とともに写真撮影を行いました。書道コーナーでは、当館館員及び JICA 青年海外協力隊ボランティアが、来場者の好きな言葉を半紙に書いて和紙をプレゼントしました。囲碁ブースでは当館館員及び当地囲碁団体「センゴク」のメンバーが来場者に囲碁のレクチャーを行いました。

合田大使は挨拶の中で、各演目の内容や出演団体について紹介し、来場者に様々な日本文化を楽しんでいただくよう呼びかけました。



